

# 東京大学教養学部における アカデミックインテグリティについて

総合文化研究科・副研究科長  
教養学部・副学部長  
藤垣裕子

# アカデミック・インテグリティ

- 学術研究活動に携わるものがもつべき  
公平性、公正性、尊厳

運営

研究

教育

# 大学としてのとりくみ

平成26年3月「研究倫理アクションプラン」

平成27年3月「研究倫理教育実施計画」

(研究倫理教育の推進について:東大研研発第115号)

- ・学生や大学院生の教育
- ・シニアの研究者への啓発

# 1. 教員むけの教育



## 科学の健全な 発展のために

— 誠実な科学者の心得 —

日本学術振興会

「科学の健全な発展のために」編集委員会 編

丸善出版

# アンケート

1. 日本学術振興会「科学の健全な発展のために：誠実な科学者の心得」を通読してみたの評価をご自由にお書きください。
2. ご所属の専攻(系)にとって、この内容は過不足ないといえますでしょうか。またどのような改定が必要と思われますか。
3. 総合文化研究科のオリジナルな研究倫理教材・教育、あるいは専攻・系オリジナルな研究倫理教材・教育として必要なことがございましたら、ご自由にお書きください。

## 2. 学生への教育

不正のない学術論文を書くために

—研究の場における倫理—

Writing Honest Papers:  
The Ethics of Academic Research

東京大学大学院総合文化研究科

Graduate School of Arts and Sciences  
The University of Tokyo

(2015年4月1日版)

# 後期課程の学生用

試験等における不正行為について(便覧)

授業の成績評価に関わる試験やレポート作成において、不正行為が認められた者は、その授業の行われたセメスターに履修した全科目の単位を無効とする。

不正行為と認定されうる行為

- ・カンニング
- ・剽窃・盗用
- ・資料・データの捏造

重複提出

# 科学者の社会的リテラシー

科学者の社会的リテラシーの育成

社会的リテラシーとは：

自らの研究成果が、社会のなかにどのように埋め込まれ、展開されていくのか、想像することのできる力



# 科学技術社会論概論・科学技術リテラシー論

## 教養学部学際科学科・統合自然科学科での研究倫理関連授業

科学が社会にどう埋め込まれているのか、その文脈を理解し、そのなかで研究不正を捉えることを通して、科学者としての社会リテラシーを学ぶ。

講義1：現代社会と科学技術：社会リテラシーとは何か

講義2：専門主義と異分野摩擦：論文生産の意味

講義3：知識政治学

班分け

講義4：技術の社会構成主義と公共空間論

GD

講義5：数値への信頼

GD

講義6：科学と政治：市民参加

GD

講義8：科学者の社会的責任

GD

# 科学技術社会論概論・科学技術リテラシー論

## レポート課題

自分が専門としようとしている分野における不正の例を1つ挙げ、以下の手順で分析せよ。

I. 不正の事実を記述してみよう。

- ① 年表を作ってみよう。\*
- ② 利害関係者を書き出してみよう。

II. 原因分析と自らの研究室の文脈での置き換え

- ③ 各利害関係者の背景
- ④ 自らが配属される研究室の具体的問題として考えてみよう。

III. 科学者の社会的責任の将来

- ⑤ ローレンツの論文を読んでの感想
- ⑥ これからの科学者に求められること

# 異分野交流・多分野協力論

## そもそも引用とは何か

第1章の内容: 学術におけるコピーは不正か

- ・学術論文 = 既存の論文との「差異」を強調  
差異を示すために引用
- ・引用 = 1) 先行研究への献辞  
2) 方位磁針・コンパス

頻繁に引用される論文 = 1) 質の高い論文?

2) 他の論文によって位置づけのための方位磁針として用いられた論文

# 前期課程の学生用

不正行為について(履修の手引p33)

不正行為を行ったと認められた者は、その科目が開講されているセメスター機関中に履修した全科目(ターム科目含む)の得点を無効とされ、追試験を受ける資格も与えられない。